

授業科目                      生化学 II

【担当教員名】  浅井 孝夫		対象学年	1	対象学科	臨床
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○			
【概要・一般目標：G10】 生体を構成している細胞や物質の基本構造や性質、機能、並びに代謝機序を理解し、様々な疾患のための検査に必要な基礎的知識を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1 各種生体成分の代謝について説明することができる。 2 核酸や蛋白質の合成について説明することができる。 3 無機質、ホルモンの役割と代謝について概説することができる。 4 生体内の各種臓器の役割について概説することができる。 5 遺伝子の役割と疾患との関連について説明することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	脂質の代謝（2）ステロイド化合物の代謝			1	講義
2	アミノ酸、蛋白質の代謝			1	講義
3	核酸の代謝			1	講義
4	核酸、および蛋白質の合成			2	講義
5	水と電解質の代謝			3	講義
6	ホルモンの分類と役割			3	講義
7	血液の成分とその働き			4	講義
8	各臓器の役割：肺、腎			4	講義
9	各臓器の役割：肝、膵			4	講義
10	各臓器の役割：筋、結合組織			4	講義
11	各臓器の役割：神経、骨			4	講義
12	遺伝子情報の流れ			5	講義
13	遺伝子と疾患			5	講義
14	細胞増殖と癌			5	講義
15	栄養素の代謝とエネルギー			1	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床検査学講座 生化学 第2版	阿部 喜代司 他	医歯薬出版	2006・3,700円＋税
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 定期試験（100%）		【履修上の留意点】 統合的な理解のために講義前の自主的学習が重要である。			